

新着DVD

- 「釜石の“奇跡” 子どもたちが語る3・11」 NHKエンタープライズ(DV374カ)
 →東日本大震災で甚大な被害を被った釜石市。その中で子どもたちが起こした“奇跡”とは？ 子どもたちの証言をもとに震災当日をアニメーションで再現。
- 「細雪」市川崑/監督 谷崎潤一郎/原作 東宝株式会社(DV778サ)
 →戦争の足音が聞こえ始めたころ、大阪の名家・嵯岡一族はその華麗な歴史に幕を閉じようとしていた。美しい四姉妹の姿を描いた長編小説を巨匠・市川崑監督が映像化。
- 「あ・うん」降旗康男/監督 向田邦子/原作 東宝株式会社(DV778ア)
 →神社の鳥居に並ぶ「阿」「吽」のように、親密な友情で結ばれた門倉と水田。そして水田の妻・たみの微妙でユーモラスな関係を描く文芸作品。
- 「フリッジ・オブ・スパイ」スピルバーグ/監督 20世紀フォックス(DV778フ)
 →東西冷戦状態の1950～60年代。弁護士として実直に務めてきたジムは、とある事件をきっかけに重大な任務を委ねられる。そのミッションとは「スパイの交換」だった。

休館日

8月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

■ は本館の休館日です

※8月には月末休館日はありません

8月のギャラリー

『やってみよう調べ学習 参加者作品展』

期 間：8月16日(水)
 ～31日(木)

※ギャラリーの展示は17時までです。

編集後記

毎日暑い日が続いていますね。もともと暑さに弱いのですが、今年は例年になく汗まみれになる毎日です。水分補給はまめにとるべき、とわかっているものの、ついつい気づけば喉がカラカラ、頭はくらくら。脱水症状を起こさぬよう、皆様もお気をつけください！（お）

けやきどおり通信 (No.287)

編集・発行 碧南市民図書館

〒447-0057
 碧南市鶴見町1-70-1
 TEL: (0566) 41-0894



けやきどおり通信



2017年8月 ～NO. 287～



“夏は夜、——そう称したのは、清少納言でした。（『枕草子』）
 彼女の生きた平安時代は、旧暦を採用していたため、現在の8月はすでに秋にあたります。
 しかし私たちの感覚でいえば、7～8月はまさに夏本番！
 清少納言の見ていた夏とは少々趣が違いますが、今月は“夜”に関連のある資料をご紹介します。
 なかにはヒヤリと涼をとれるような怪談話もとり混ぜます。
 ぜひお手に取ってみてください。

「銀河鉄道の夜」 宮沢賢治/原作 清川あさみ/絵 リトルモア(726.6ギ)

孤独な少年ジョバンニが、級友であるカムパネルラと銀河鉄道に乗って、星の海を旅する——。宮沢賢治の名作を、刺繍やビーズ、クリスタルを用いて紡ぎだされる美しい絵本。

「夜の絶景写真 工場夜景編」 小林哲朗/著 インプレス(743ヨ)

闇に浮かび上がる、幻想的な工場の風景。一種独特な美しさをかもしだす、そんな工場夜景を上手く撮影するためのテクニックと、現像・加工までを解説。全国の工場夜景絶景ガイドも収録。



「夜空を歩く本」 林 完次/写真・文

インテックス・コミュニケーションズ(748ヨ)
 どこか切ない気持ちにさせる夕暮れ時から、あたりを柔らかく照らす夕月の姿。その月がかすむほど輝く星々が彩る夜の空が、やがて消えて行くまでを追った写真集。

「夜行列車の記録」 富田康裕/編・著 荒木好夫/写真 自由国民社(686ヤ)

レイルウェイ・ライターと長年列車の写真を取り続けてきた著者たちが、時代を走ってきた夜行列車の「名ランナー」を取り上げ、紹介する。

「**華美(HANABI)**」

恩田弘一/撮影 オンダ(748ハ)

日本の夏の風物詩のひとつ、花火。夜空をキャンパスにして描き出される打ち上げ花火は、見るものの心を奪います。豪快かつ繊細な日本の花火を撮影した160もの作品をご堪能あれ。

「**月光浴青い星**」

石川賢治/著 小学館(748ケ)

30年以上、満月の光だけで幻想的な夜の風景を撮り続けるフォトグラファーが、これまでの旅で訪れた世界各地の写真をまとめた1冊。青く美しい世界を体感してください。

「**夜を守る**」石田衣良/著 双葉社(Fイ)

上野・アメ横。この町で暮らす3人の幼馴染は、仕事終わりにガード下の定食屋に集まることを楽しみにするという冴えない毎日を送っていた。しかし、ある事件をきっかけにアメ横の夜を守るため「ガーディアンエンジェルス」として立ち上がることに――。

「**大停電の夜に**」源 孝志/著 講談社(Fミ)

クリスマス・イブの夜に東京を襲った大停電。10年間、忘れられない女が居る男。ある秘密を抱えた主婦。出所したばかりのヤクザ……。暗闇に包まれた街で繰り広げられる、12人の男女の群像劇。

「**夜をゆく飛行機**」

角田光代/著 中央公論新社(Fカ)

四姉妹の末っ子・里々子は、生まれなかった弟のことを思いながら、物干し台から夜空を見上げる。あたりまえの日常は、うとましいけれど憎めない。変わらないようで変わっていく谷島酒店一家のアルバム。

「**真夜中の運動会**」

池永 陽/著 朝日新聞出版(Fイ)

ポケ始めたじいちゃんが繰り返しの口にする4つの単語。意味不明なその言葉がつながったとき、それぞれに問題を抱えた家族みんなが真夜中の校庭へと走り出した。優しく、少し切ない物語。



「**本当の夜をさがして**」

ポール・ボガード/著 白揚社(519ホ)

コンビニや自動販売機に街路灯。現代の「夜」は、随分と明るい世界となってしまった。過剰なまでの光が溢れ、本物の夜を失った私たちが待ち受ける未来とは？

「**ラジオ深夜便料理帖 1~3**」

NHK サービスセンター(596ラ)

暮らしの本

NHKで放送中の「ラジオ深夜便」の人気コーナーを書籍化。料理に不慣れな方から、ベテラン主婦まで幅広く役立つヒント集です。



「**夜にちょこっとココットごはん**」

牧野純子/著 朝日新聞出版(596ヨ)

暮らしの本

「ココット」を使った110のレシピを紹介。器のサイズが決まっているので食べ過ぎず、夜にぴったりのごはんです。

「**降霊会の夜**」浅田次郎/著 朝日新聞出版(Fア)

降霊会とは、霊媒を介して生者と死者がコミュニケーションを図ること。嵐の夜、迷いこんで来た謎めいた女が口にした「会いたい人はいませんか。生きていても、亡くなってもかまいません」。その言葉にひかれて、降霊の儀式に参加することになった初老の男が、そこで見たものとは？

「**暴走司会者**」

田原総一郎/著 中央公論新社(699ホ)

深夜の名物番組「朝まで生テレビ！」の出演者であった著者が、野坂昭如や大島渚など、ひとくせもふたクセもあるパネリストたちとの論戦・激論を振り返り、その舞台裏を語る。

「**深夜百太郎 入口**」

「**深夜百太郎 出口**」

舞城王太郎/著 MASAFUMI SANAI/著 十十ロク社(Fマ)

舞城王太郎版の百物語。ファミレスのパートのおばちゃんから、夜のシフトを外してほしいと言われたが。その理由が深夜に死んだはずの息子がやってくるからだという…。『ファミレスの子ども』をはじめとした短編ホラー集。

「**真夜中の青い彼方**」

ジョナサン・キング/著 文藝春秋 (B933マ) 文庫

元刑事の「私」が真夜中の川で発見したのは、連続幼女誘拐事件の新たな被害者だった。事件への関与を疑われながら調査に乗り出した矢先、さらに事件が起こる。深い森に潜む犯人との苦闘を描いたハードボイルド小説。

「**山怪 1~2**」

田中康弘/著 山と溪谷社(388サ)

日本の山には「なにか」が潜んでいる…。それは様々な姿で姿を現し、私たちが脅かす。狐火があふれる地や、マタギの臨死体験。また山中に響く不思議な音の正体とは？山で暮らす人々が実際に体験した奇妙なエピソードがいま、語られる。

「**ぼくらは怪談巡礼団**」

東 雅夫/著 加門七海/著 KADOKAWA(915ホ)

日本各地に伝わっている怪談の舞台で、一行を待ち受けていた怪奇現象とは？怪談紀行にして、名作案内でもある、かつてないトラベル・ブック。

「**屍鬼 上下**」

小野不由美/著 新潮社(Fオ)

猛暑に見舞われた夏、三方を山に囲まれた小さな集落で、村人たちが謎の死を遂げていく。増え続けていく死者の原因は、未知の病なのか、それともある一家が引っ越して来たからなのか？息をひそめ、闇をうかがう村人たち。その恐怖と疑心が頂点に達したとき――。文庫版(全5巻)もあります。

「**夜想曲集**」

カスオ・イシグロ/著 早川書房(933ヤ)

ベネチアのサンマルコ広場で出会った流しのギタリストと、離婚間近のベテランシンガーを描いた『老歌手』。どこか切なく、同時に温かみのある大人たちの物語を、音楽と夜が彩る短編集

「**愛知の怖い話**」

福谷 修/著 TOブックス(388ア)

秀吉ゆかりの太閤神社、巨大な遊郭跡地で起こる怪奇現象、絶対に入ってはいけない中古物件など、地元の怖い話をつめこんだ1冊。知られざる愛知の心霊スポットの恐怖を体験しませんか？



貸出中の時は予約をどうぞ！